

●●●広報●●●

# ふるびら

## ■9月～10月のまちの中の出来事



古小5年 稲刈体験



商工会女性部 街頭啓発



吉野旗争奪少年野球大会



第37回ロードレース大会

### 今月の主な内容

- ◆ごみの減量化…………… 2～3 P
- ◆まちの中の主な公共工事…………… 4～5 P
- ◆ロードレース大会…………… 7 P
- ◆新任警察官紹介…………… 15 P

2012[平成24年]

11月号  
No.444

# ゴミに3千7百万、減量化は避けられない

世の中でごみの減量化が叫ばれて久しいです。古平町でも今後10年間の計画である第5次総合計画の中でもごみの減量化を目標に定めています。今月号では古平町のごみ処理の現状から、なぜ、ごみの減量化が必要なのかを考えてみたいと思います。

## ごみ処理の現状

ごみは種類によって処理方法が違う！

古平町では、現在大きく5種類のごみに分けていますが、それぞれ集めて処理する方法が異なります。

(表1参照)

このうち町民の皆さんがよく出す「燃やせるごみ(緑色のごみ袋)」は、町内の収集業者が集めた後、小樽市

と北後志5町村で共同運営する「北しりべし広域クリーンセンター(小樽市桃内)」で焼却処理しています。その燃やしたカス(ダスト)「集じん灰」を町の「クリーンセンター(廻り淵)」で埋立処理しています。



町内業者によるごみ収集

また、プラスチック類(オレンジ色ごみ袋)も町内業者が集めた後、小樽市銭函にある民間業者へ運び、溶融処理を委託しています。

【表1】ごみ収集・処理方法

ごみの種類	ごみ袋の色等	「収集」方法	「処理」方法
燃やせるごみ	緑色	町内の収集業者が各家庭から出されたものを集める	北しりべし広域クリーンセンター(小樽市桃内)で焼却処理。その後、燃やした燃えカスを町クリーンセンター(廻り淵)に埋める
プラスチック類	オレンジ色	同上	民間業者(小樽市銭函)が溶解処理
燃やせないごみ	黄色	同上	町クリーンセンターで埋立
有害ごみ	乾電池・蛍光灯など	同上	クリーンセンターに一時保管しておき、民間業者(北見市)が溶解処理
資源物	ビン・缶・ダンボールなど	町内の収集業者が各地区の決められた場所から集める	北後志リサイクルセンター(余市町)で分別処理

年間ごみ処理費用は3千7百万円

町民の皆さんにごみ袋を

【表2】平成23年度 ごみ処理費用等 (単位:円)

ごみの種類	収集・運搬 ①	処理 ②	計 ③(①+②)	ごみ袋売払 収入等④	差引 ④-③
燃やせるごみ	16,275,000	13,677,740	51,940,822	14,370,295	▲37,570,527
プラスチック類		3,002,160			
燃やせないごみ		12,157,654			
有害ごみ		506,940			
資源物	6,000,750	320,578			
合計	22,275,750	29,665,072			

購入してもらいごみ収集費用の一部を負担してもらっています。平成23年度の結果をみると、ごみ袋収入を差し引いてもおおよそ3千7百万円程度かかっています。(表2参照)



ごみ処理量は年々、増えている

古平町で処理しているごみの過去3年間をみると、ごみも年々増加傾向にあります。(表3参照) 特に燃やせないごみ(黄色のごみ袋)は、その増加率が他のごみよりも大きいです。

【表3】ごみの収集・処理量(過去3年)

	H23		H22		H21	
	収集・処理量	対前年	収集・処理量	対前年	収集・処理量	対前年
燃やせるごみ	740,740	1.39%	730,590	0.40%	727,870	—
プラスチック類	71,480	1.29%	70,570	0.70%	70,070	—
燃やせないごみ	81,170	4.10%	77,970	17.20%	66,520	—

では、なぜ、ごみ処理量が増えることは問題なのか？ 日本国全体の「限りある資源を有効に活用して、最大限リサイクルを図る」という風潮もありますが、古平町の切実な問題はやはり「お金」です。

**古平町の処理費用を減らす。町クリーンセンターを延命する**

前述したように燃やせるごみは、北後志6市町村で共同運営している「北しりべし広域クリーンセンター」で処理しています。その処理費用は持ち込んだごみの量で按分されます。言い換えると持ち込んだごみの量が減ると、6市町村で出し合っている負担金の古平町分が減ることになります。

古平町の平成23年度の燃

やせるごみの処理量を人口1人当たり割りかえして算出すると、203kgと他市町村に比べるとダントツに多いです。(表4参照)

【表4】平成23年度 6市町村「燃やせるごみ」処理表

	処理量(トン)	割合(%)	H24.3 住民基本台帳人口(人)	人口1人当たり処理量(kg)	負担金額(千円)
古平町	740.74	3.3%	3,642	203.39	13,348
小樽市	17,499.78	78.7%	130,255	134.35	464,773
積丹町	419.48	1.9%	2,491	168.40	7,637
仁木町	434.64	2.0%	3,722	116.78	8,086
余市町	3,001.34	13.4%	20,921	143.46	59,929
赤井川村	154.18	0.7%	1,172	131.55	2,740
計	22,250.16	100.0%	-	-	556,513

また、「北しりべし広域クリーンセンター」で燃やした後のダストは、各市町村の最終処分場(古平町ではクリーンセンター)に埋め立てます。燃やすごみの量が減ることで、埋め立て

るダストの量も減ります。

町クリーンセンターは無尽蔵に埋め立てをすることができわけではありません。そもそも建設費には平成13・14年の2カ年でおおよそ9億4,000万円をかけた。国からの補助金もありましたが、7億3千万円は借金です。今でも年間6,400万円の借金を平成29年まで返済しなければなりません。(表5参照)

ですから埋め立てる量を減らし、町クリーンセンターの寿命を延ばす必要があるのです。

【表5】町クリーンセンター建設費とその財源

建設費など	9億4,126万円
国補助金	1億8,240万円
地方債(借金)	7億3,000万円
一般財源	2,886万円

※万円以下の端数四捨五入



町クリーンセンターの限りある埋立場所

**ごみの減量化方法**

では、どのようにごみを減量化すると良いのでしょうか？ さまざまな方法が考えられますが、一般的に言われていることは「生ごみ処理機を使用し、生ごみをたい肥化する」「町に生ごみ処理機購入時の補助制度があります。」「買い物時にはマイバックを持参し、余分な袋はもらわない」、「コンビニ等で必要のない割箸やスプーンを断る」、「過剰な包装は断る」などです。

他市町村では、お菓子の箱などを雑紙として資源物で回収したり、生ごみは燃やせるごみに含めないなど古平とは違う分別方法で減量化に取り組んでいる例もあります。

**町民全員で取り組むことが大事**

このようなことを行っても一つの家庭で減らせる量はたかがしれていると考えられるかもしれません。しかし、町民全員でしっかりと分別して、減量化に対して少しずつ取り組むことが、今後の減量化を進めるのに大変重要となってきます。



# まちの中での主な公共工事

今年、役場が行った（行っている）主な公共工事の内容についてご紹介いたします。

## 「小学校周辺」工事



- ・正面から右側：町道小学校通線
- ・左側への道路：町道清丘1号線

## 多目的運動広場

旧古平小学校を取壊した跡地（新校舎前）に整備しています。

町民だれでもが使用できる運動広場であるとともに、災害が発生した際の浜町方面の1次避難場所でもあります。また、学校の授業内容によ

ってはグラウンドとしても使用します。整備費は約1億1、550万円。10月10日現在、旧小学校の解体や排水工事が終わり、これから地面の整地やフェンス工事、遊具設置などを行い、12月までの完成を目指しています。



旧小学校校舎解体  
(6月11日撮影)



旧校舎跡地に多目的運動広場  
(10月4日撮影)

## 町道小学校通線

禅源寺の入口から小学校への通学路の整備です。

児童の安全を考え、歩道を新たに設置し、道路幅もこれまでの7mから歩道を含め10.5mとします。また、坂の勾配も8%から5.5%程度に掘り下げたため緩やかになります。整備費は約3、722万円で11月一杯の完成予定です。



町道小学校通線。左側に歩道を新設  
(10月4日撮影)

## 町道清丘1号線

本陣（チヨペタン）と新校舎周辺を結ぶ道路整備です。道路幅はこれまでと同じで5.5mで、整備費は約7、521万円です。この道路も11月一杯の完成予定です。

## 避難階段

広報7月号でもお知らせしましたが、もし津波が発生した場合、沢江地区と港町の一部は高台等へ逃げるためには急な山坡を登らなければなりません。両地区の避難階段がほぼ整備されました。

### 沢江 久保田一美宅裏

久保田宅裏の小高い丘へ一時的に避難するための階段です。整備費は約35万円です。

### 沢江 吉田スナ宅裏

吉田宅裏の山を登り一時的に避難



町道清丘1号線  
(10月4日撮影)



久保田一美宅裏（工事後）  
（10月10日撮影）



久保田一美宅裏（工事前）

するための階段です。急な山を登ることから、こちらの階段には手すりを設置しています。沢江地区の高齢化を考え、一つ一つの階段の高さはかなり低くしています。  
整備費は約115万円です。



厳島神社地先の階段。  
もともとあった階段を平に整備。  
（10月10日撮影）

港町 厳島神社地先の階段  
平成5年の奥尻沖地震の際に地域の多くの人が厳島神社へ避難したため、役場としては今年、厳島神社が改修されることに併せ、神社の高台への階段を避難階段（避難路）として整備しました。  
整備費は約178万円です。



吉田スナ宅裏  
（10月10日撮影）

### チヨペタン林道災害復旧

チヨペタン側入口から380m地点

昨年（H23）の大雨で崩れた箇所  
の復旧工事。工事費約656万円。  
そのうち630万円を国からの補助  
を受けて復旧しました。

今年7月に工事が完了したため、  
既に草が生い茂っています。



上段：工事後（10月10日撮影）  
下段：工事前

チヨペタン側入口から2.6km地点  
一昨年（H22）の大雨で道路に亀裂が入った箇所の復旧工事。工事費  
約152万円。そのうち半分の76万  
円を北海道からの補助を受けて復旧  
しました。



上段：工事後（10月10日撮影）  
下段：工事前

### 温泉側入口から900m地点

H22・H23の両年の大雨で大規模  
に崩れた箇所の復旧工事。工事費約  
3、360万円。そのうち3、23  
0万円を国から補助を受けて復旧し  
ました。



上段：工事後（10月10日撮影）  
下段：工事前（H23大雨後の土砂崩れ）

# 第45回文化祭発表会

開催日時

11月3日(土) 午前10時30分～

場所

文化会館(太陽ホール)

詳細・お問い合わせ

教育委員会 生涯学習係

担当：中村・小澤

☎ 42-2300

## 第45回 文化祭発表会出演団体

1. 日本詩吟学院岳風会共和支部古平道場
2. たらつり節踊り愛好会
3. 古平中学校吹奏楽部
4. 古平・積丹ぞうれっしゃ合唱団
5. 古平女声コーラス「ハイミッシュコール」
6. 友光会
7. 西川流峰香会
8. 花柳美乃多希会
9. 古平町正調越後盆踊り保存会
10. 古平カラオケ愛好会



昨年のお茶会の様子

秋桜の会 お茶会  
午前10時30分～  
午後2時  
文化会館2階ロビー



昨年の様子 (ハイミッシュコール)

年金受給者の皆さまへ「扶養親族等申告書」は期限までに提出しましょう！

老齢や退職を支給事由とする年金は、雑所得として所得税の課税対象とされます。(障害年金・遺族年金は課税されません)

課税対象となる受給者の方には、毎年11月中旬までに日本年金機構等から扶養親族等申告書が送付されますので、提出期限までに必ず提出してください。この申告により、翌年中に受けられる年金にかかる所得税の源泉徴収税額が決まります。

もし提出を忘れると各種控除が受けられず、所得税の源泉徴収税額が多くなる場合がありますのでご注意ください。なお、年金以外に収入がある方は確定申告が必要になります。平成24年分「扶養親族等申告書」が送付される方

- ・ 65歳未満：年金額が108万円以上
  - ・ 65歳以上：年金額が158万円以上
- 民生課戸籍年金係(伊賀・八反田)

☎ 42-2181 (内線59)

「社会保険料(国民年金保険料)控除証明書」が発行されます。年末調整・確定申告までに大切に保管を！

国民年金保険料は、所得税及び住民税の申告において全額が社会保険料控除の対象となります。その年の1月1日から12月31日までに納付した保険料が対象です。この控除を受けるためには、支払った事を証明する書類の添付が義務付けられています。

このため平成24年1月1日から9月30日までの間に国民年金保険料を納付された方には、「社会保険料(国民年金保険料)控除証明書」が11月中旬に日本年金機構本部から送付されますので、年末調整や確定申告の際には必ずこの証明書(又は領収書)を添付してください。

ご家族の国民年金保険料を納付された場合も、ご本人の社会保険料控除に加えることができますので、ご家族あてに送られた控除証明書を添付のうえ申告してください。

民生課戸籍年金係(伊賀・八反田)

☎ 42-2181 (内線59)

# 秋晴れの下、1105名が汗!

## 健康まつり第37回古平ロードレース大会



体育の日の8日、健康まつりと題

した第37回古平ロードレース大会

(古平町など主催)が、中島スポー

ツレクリエーション広場を発着地点

として開かれ、1105名がすがすが

しい秋晴れの下、心地よい汗を流

しました。



古小6年、小林翔真くんが力強く選手宣誓

### 走る5コース、歩く2コース

今回の大会には町民290名のほ

か、815名もの町外者が参加し、

銀座町内の92歳の青木スワさんも最

高齢で出場しました。

レースでは走る15km、10km、6km、

4km、2kmの5コースと、健康のため

の歩く4kmと2kmの2コースが

用意され、15kmと10kmはタイムを計測し、速さを競いました。



### 全員が2時間以内にゴール

走るコースでの参加者は、緑から

黄色に色づき始めた山間の道道99

8号を力走し、沿道の通行人から

「がんばれ!」と声援を受けていま

した。15kmで最も早かった方は、52

分13秒で、15kmに参加した87名は皆

1時間50分以内のタイムで、参加者

全員が2時間以内にゴールしました。

また歩くコースの参加者は、秋の

日差しを受けながら家族や友人と楽

しくおしゃべりをしながら自分の

ペースで歩いていました。

### 仲間と声を掛け合い完走

学校の部活の仲間と6kmを完走し

た古中2年の堀智弥くんは「仲間と

声を掛け合って走った。疲れたが皆

と走れたので良かった」と話してく

れました。友達6人と歩く4kmに

参加した古小5年の山口夏生さんは

「疲れたが、天気が良く気持ち良

かった」と、2人の息子と参加して

いた清住の苗代澤ちまきさんは「今

年は天気が良かったので、すがすが

しい気持ちで歩けた」と話してくれ

ました。

### アットホームな雰囲気

またニュージランド出身で現在、

江別市で英語教師をしているキー

ム・ローケルさんは「4kmのコース

を歩いたが、普段運動をしていない

ため20kmにも感じた。しかし古平の

人と一緒に歩くことができるこの

アットホームな雰囲気が気に入って

いる」と参加した感想を話してくれました。

レース後、参加者は広場にシートを敷き、主催者から振る舞われた豚汁で運動後の空腹を満たしました。

### 体育連盟からの表彰

なお、レースに先立ち古平町体育

連盟より、この1年間、スポーツの

振興等にご貢献された8名と2団体の

表彰もありました。(詳細は左表)

平成24年度 古平町体育連盟表彰

受賞名	受賞者名	内容
スポーツ振興賞	小田嶋 竜子	ソフトバレーボールの普及振興に寄与
	永山 博	ソフトバレーボールの普及振興に寄与
	坂下 勝章	バドミントンの普及振興に寄与
	浜口 明夫	トリムクラブの普及振興に寄与
	村田 博	トリムクラブの普及振興に寄与
スポーツ賞	穂井田 春美	フォークダンスの普及振興に寄与
	伊藤 開人	全道中体連柔道大会 81kg級 第3位
スポーツ奨励賞	古平町柔道少年団(男子)	後志中体連柔道大会団体 優勝
	工藤 綾乃	後志中体連剣道大会 第3位
	古平野球スポーツ少年団	第24回札幌はなます少年野球協会新人戦優勝

## 大きく育った稲、鎌で刈取り

## 小5 20名が稲刈り体験

9月20日、古平小学校の5年生20名が6月に植えた苗を刈る稲刈りを行いました。この稲刈りは総合学習授業の一環で、実際に苗を植えてから稲を刈るまでの体験を通して収穫する喜びを知ることや、地元の一産業の内容をより理解するためにを行っています。

子どもたちは初め、田んぼを貸してくれた栄町の小澤静江さんから稲の刈り方や鎌の使い方を習った後、2人1組となり稲を刈る人と刈った稲を縛る人に分かれ、交代で作業を進めました。

自分たちの腰くらいまで育った稲の中に体を埋め、約30分をかけて自分たちが植えた稲を刈り取りました。鎌の使い方に慣れておらず指を切ってしまう子どもや、刈った稲を十字に縛るのが緩くて解けてしまう一幕もありました。

刈った稲は学校のペランダに干し、家庭科の調理実習で食べるそうです。



教わったとおり地上から5cmのところまで刈取り



加藤史也くんに稲刈り体験の感想を聞くと、「稲が大きく育ってびっくりした。刈るのは簡単に出たが、きちんと縛ることが難しかったです」と楽しそうに感想を話してくれました。

## 戦争の悲惨さを伝える

## 越智晴子さん、古小で被爆体験を語る

10月1日、古平小学校で北海道被爆者協会の越智晴子会長をゲストに迎え、自らの被爆体験などを語ってもらい命の大切さを児童に知ってもらったためのゲスト集会が行われました。

いじめによって命を落とす報道が相次いでいることや、戦争を知らない子どもたちに直接体験した方に話してもらったため、古平小学校独自の企画で今回の特別講演が行われました。

講演で越智さんは、広島に原爆が落とされた時、太陽が落ちてきたかと思った。目と耳を押さえてうつ伏せになったが、背中に傷跡が残った。その後25年間も体の変調が続いた。兄と甥は放射能をたくさん浴びて死んだなどと、その時の悲惨な話をしてくれました。

また、児童に対して戦争は人殺しだ。戦争のない世の中で生活することは幸せだと説き、戦争が起こった悲劇をしっかりと勉強し、二度と繰

り返さないようにしてほしいとも訴えていました。

6年生の森綾菜さんは「日本では戦争が起きていないからその怖さが今まではわからなかった。越智さんのつらい経験話から戦争の恐ろしさが伝わってきた。これからも戦争が起きなければ良いと思う」と感想を話してくれました。



つらい経験話を語る越智晴子さん



# 全校合唱、古中祭で初の取組！

テーマは「STEP（ステップ）」〜 一歩前進



10月5日、古平中学校で古中祭（学校祭）が行われました。

普段の勉強や部活では経験できない事をやり遂げ、クラスの結束力を高めることや達成感を味わい個々人の自信を高めることがねらいです。

開会式後、1〜3年生31名で制作した天狗（猿田彦）のモザイクアートが披露されました。天狗は神輿の道先案内人、これからの中学生の人生の案内人であるようにと作られました。このモザイクアートは9300枚もの写真を貼り合わせて天狗を表現したものでした。

校内弁論大会では3年生の熊倉玲奈さんの「生命」が1位、2年生の小澤友里さんの「責任を果たすために」が2位に選ばれました。熊倉さんは東日本大震災によって生命の尊さに気付いた。普段からまわりの人とコミュニケーションを取り、信頼関係を築くことが大事と主張。

また、今回の古中祭では初の取組

として学年を越えた全校合唱が披露されました。学校が一つにまとまりたいという生徒の願いから生まれた取組です。70人の生徒がソプラノ、アルト、男声の3つのパートに分かれ、「大切なもの」を熱唱しました。

きれいにまとまった2部合唱に観覧していた父母から惜しみない拍手が送られていました。

どのステージでも、取り組んでいる生徒は一生懸命、観ている生徒からは声援や暖かい拍手が沸き起り、学校に一体感がある印象を与えてくれました。



写真右：天狗モザイクアート。写真下：初の取組である全校合唱



# 「対話」「思いやり」「差別」「命」

古平中学校、1・2年生を対象に人権教室



人権擁護委員による問答形式で授業展開

1年生の授業では、小樽人権擁護委員協議会の委員が4つのショートコントを見せ、人権を守るためには何に気をつければ良いのかを生徒に考えてもらいました。生徒は「車いすの子をバスケットに入れるべきか？」や「電車に乗っていて高齢者に席を譲るべきか？」などのコントを見て、そこから「対話」「思いやり」「差別」「命」の人権を守る4つのキーワードを真剣に考えていました。また2年生の授業では、同委員による作文朗読で「いじめ」について深く考えてもらっていました。

1年生の坂下あかりさんは「今までは人権という言葉聞いたことはあったが、よくわからなかった。今日の授業で、まわりの人に対する思いやりが大事であることがわかった」と話してくれました。

12日、古平中学校で1年生（25名）と2年生（17名）を対象に人権教室（役場主催）が行われました。

この人権教室は、今年度、幼小中でそれぞれ行われていますが、今回は中学生を対象とした「対話」や「思いやり」などの人権の内容について学びました。

# コールド発進も、決勝で惜敗

## 吉野旗争奪少年野球大会で準優勝

9月29日、中島スポーツレクリエーション広場と古平中学校グラウンドで近隣市町の8チームが参加する吉野旗争奪少年野球大会（古平野球スポーツ少年団後援会主催）が行われました。

同大会は子どもたちの健全育成、体力づくり、他市町村チームとの交流を図る目的で昭和56年から始まり今年で32回目です。

古平野球スポーツ少年団は、一回戦で余市沢町地区野球スポーツ少年団と戦い7対0と試合巧者ぶりを発揮し相手チームを圧倒しました。ヒットで出塁したランナーが盗塁、それをバントで3塁に送ったのちにスクイズで点を取る小技や、フォアボール、相手のエラーで満塁にするヒット、ヒットの連打で得点したり、走者一掃のタイムリースリーベースが飛び出すなど、絶えず優位に試合を進めました。投げては6年生ピッチャーの本間健流くんが常に



見事完封した本間健流くん

ストライクを先行させ、攻めのピッチングで見事完封しました。

本間くんは「今日はコントロールも良く、ストライクが取れた。まわりの守備も良く、リズム良く投げられた」と話してくれました。

2回戦も余市強い子スポーツ少年団に2対0と辛勝しましたが、決勝で共和東陽野球スポーツ少年団に8対1と惜敗しました。

# 台宿後は家族の協力が必要！

目的でした。合宿後の個人目標も設定。

合宿中の一斉学習では、スタッフから始める合図がなくても、自然にプリントや宿題に取り組む様子がみられました。

保護者プログラムでは後志教育局教育支援課の藤田主査と懇談が行われ、前回の合宿後から子ども読書をする時間が増えたという意見が多数出ていました。藤田主査からは、「子ども一人では規則正しい生活をするには限界がある。家族のサポートが必要である」と話されました。

保護者プログラムに参加していた山田大貴くん（6年）の母親の和代さんは「息子が規則正しい生活を送れるよう、親として環境づくりをサポートしたい」と話してくれ、吉野彰真くん（6年）の母親の聖子さんは「2年間、子どもは参加しているが、設定した目標が前回と同じである。前回出来なかつた事を反省して、がんばってもらいたい」と話してくれました。



食事をサポートしてくれた食生活改善委員の皆さんと！

ふるびら通学合宿の第2期が、10月11～13日の2泊3日の日程で漁港会館を会場として行われました。参加した児童は第1期（9月3～7日）と同じ14名。

今回の合宿も「早寝・早起き」「1時間以上の勉強」「30分以上の読書」を目標としており、今回はスタッフの指示がなくても、自分で考えて活動できるかどうかを確認することが

# NHKドラマ撮影収録終わる!

来年3月放送「極北ラプソディ」



(監督がお気に入りでおケ地となった  
歌棄町宮住宅からの景勝)  
～主人公 瑛太の住宅前花壇から

NHK2013年春放送のドラマ収録が9月から後志を舞台に各地で撮影され、古平でも9月23日から10月1日にかけて秋場面の収録が行われました。

ドラマは、今話題となっている地方都市の医療崩壊の危機をテーマに若き医師が奮闘し成長していく姿を描いています。配役は主人公の医師に瑛太、その恋人役に加藤あい、院長に小林薫など名優が出演しています。

## 話題

おケ先は、古平がメインとなり歌棄町宮住宅（瑛太・小林薫宅）、役場



(撮影現場では、役者の個人的な写真撮影は難しい状況でした)

～役場前 大澤宅

前の大澤宅（加藤あい宅）、ハシバ美容室（加藤あいの職場）、旭住宅花村宅（往診先）ほかとなっています。収録では、突然の町内のざわめきに訳の分からない方も多かったと思いますが、事前の日程等のお知らせが出来ないことになっていましたので、ご理解ください。

放送は、平成25年3月19日と20日の2夜。午後10時～午後11時15分  
NHK特集ドラマ「極北ラプソディ」の予定です。

# 11月1日、「結（ゆい）」オープン

旧「伊与鮓」を古平福祉会で改修



正面の入口が「寿味（食堂）」入口。  
「寿味」横に「つむぎ」入口あり。

うち国（厚生労働省）から高齢者や障がい者のための福祉施設改修のために3、300万円が交付金として補助されました。

1階の食堂は元鮓店を活かした内容と惣菜などをテイクアウトできる店であるとともに、障がい者の働く場所でもあります。また、交流サロンは1階の離れ家で、高齢者や障がい者が気軽に利用できる寄り合い場所です。地域の町内会などの団体会議や懇親会などでも使用できるそうです。

2階のグループホームは、障がい者向けの一体型で利用定員は5名だそうです。グループホームの指定は10月1日に既に受けており、福祉会としては32番目に指定を受けたグループホームだそうです。

11月1日オープン予定の古平福祉会の多機能型地域住民活性化ステーション「結（ゆい）」についてご紹介いたします。

この施設は、旧「伊与鮓」を福祉会で購入し、1階を食堂（寿味（ずみ））と交流サロン（結（ゆい））、2階をグループホーム（つむぎ）に改修したものです。

建物は木造亜鉛メッキ鋼板葺2階建てで、延床面積377.6㎡。建築費はおおよそ6、030万円。その

9/30 (日)

「ナイスショット」 ～ 古平町長杯パークゴルフ大会



9月30日、あいランド広場パークゴルフ場で41名が参加した古平町長杯パークゴルフ大会が開催されました。同大会は今年で14回目。

参加者は11組（3〜4名）に分かれ、あいランド広場のA・B・C・Bと4コースをまわり得点を競いました。心地よい秋風が吹く中、狙い通りに打つことができ喜びプレーヤーや、強く打ちすぎたり、逆に弱すぎて悔しがるプレーヤーもいました。コース内のあちろちろから「ナイスショット!」「おしい!」という声飛び交っていました。

女子の部で優勝した浜一の伊藤節子さんは「いつもと同じくらいスコアだが、他の人にハンデがついていたので、たまたま優勝できた」と話してくれました。

10/3 (水)

「後志地区身体障害者福祉協会 北後志ブロック研修会」



研修会冒頭、手話で挨拶する古平町身体障害者福祉協会の高橋邦子会長

10月3日、文化会館で後志地区身体障害者福祉協会主催の北後志ブロック研修会が行われました。今回は古平のほか、北後志の身体障害者福祉協会の会員らおよそ100名が出席。

研修会では23歳の次男が自閉症である余市町の大竹恵子さんが、これまでの子育てを「いつかきつと…つながり求めて」と題して講演を行いました。昔は健常児と比較ばかりしてしまったことや、障がいがあっても障がいと共に自分らしく生きることが大切であるなどと話してくれました。講演後、その次男の康介さんが会場でピアノを4曲披露してくれ、がんばっている姿を見せてくれました。

【会員募集】

古平町身体障害者福祉協会の会員を募集しています  
連絡先：高橋邦子 42 - 3901

10/7 (日)

「異国の料理を堪能」 ～ 国際交流協会クッキングパーティ



10月7日、文化会館で古平国際交流協会主催のワールドクッキングパーティが行われました。

パーティには町民と会員を合わせて約20名とブラジルやフィリピンなどの留学生6名の計26名が参加。

今回は外国語指導助手で町内在住のリチャードさん自慢の「ピーナッツバターサンドウィッチ」など4品を調理しました。

参加者は留学生からレシピの説明を受けるとともに、各国の食文化の話で交流を深めました。

参加していた御崎町の大島敏子さんは「外国の料理で食べづらいかと思っただが、日本人の口に合う」と感想を話してくれました。

## 国や道などからのお知らせ

### 【無料法律相談のご案内】

毎月第3水曜日に無料法律相談所を開設しています。金銭、不動産、家事等の法律問題を札幌弁護士会所属の弁護士が相談に応じます。お気軽にご利用ください。

**開設日** 11月は21日(水)

**場所** 余市中央公民館2F

**開設時間** 午後1時～午後4時

**相談時間** 1人30分まで

**予約受付** 相談には事前に予約が必要

必要です

**お問い合わせ先**

役場 民生課福祉係 黒川

☎42-2181(内線56)

### 【各種自衛官等の募集】

自衛官候補生(男子)・陸上自衛隊高等工科学校生徒(一般・推薦)を募集します。

**お問い合わせ先**

自衛隊札幌地方協力本部 小樽地域事務所(小樽市稲穂2-22-4 樽石ビル2F)

☎0134-22-5521

### 【NHK学園 生徒募集】

NHK学園では、通信制の高等学

校普通科、および生涯学習通信講座の生徒・受講者を募集しています。まずは、無料の案内書をご請求ください。

**募集内容** 平成25年度高等学校普通科(3年制)生徒、および生涯学習通信講座受講者

**出願期間** 高等学校普通科

推薦入学…平成25年1月18日

一般入学…平成25年1月25日

～4月30日

生涯学習通信講座

通年申込受付

**お問い合わせ先**

NHK学園

☎042-5723151

FAX 042-5741006

案内書請求フリーダイヤル

☎0120-06-8881

<http://www.n-gaku.jp>

### 【年末調整等説明会の開催】

余市税務署では、平成24年分年末調整にかかる説明会を次のとおり開催いたします。

**日時** 平成24年11月21日(水)

**場所** 古平町文化会館

**内容**

・「年末調整の仕方」のCD-ROM上映

OM上映

・源泉徴収事務の改正点について  
・法定調書の提出についての留意事項  
・e-taxの利用方法(ダイレクト納付・法定調書の作成・提出等)

**お問い合わせ先**

余市税務署 調査部門

☎22-2093

年末調整関係用紙等は国税庁のホームページをご覧ください

<http://www.nta.go.jp/>

### 【個人事業税(第2期)の納期限は11月30日です】

個人事業税は、個人で事業を行っている方に、その事業の所得を基礎として課税される道税です。

小樽道税事務所から送付(8月10日発送)されている納税通知書により、納期限までに必ず納めてください。なお、納税通知書を紛失された方は、左記までご連絡ください。

**お問い合わせ先**

後志総合振興局 小樽道税事務所

納税課納税第一係

☎0134-23-9441

### 【北海道最低賃金】

北海道内で事業を営む使用者及びその事業場で働くすべての労働者

(臨時、パートタイマー、アルバイト等を含む)に適用される北海道最低賃金(地域別)が次のとおり改定されました。

**最低賃金額** 時間額719円

**効力発生日** 平成24年10月18日

・最低賃金には、精皆勤手当、通勤手当、家族手当、臨時に支払われる賃金、及び時間外等割増賃金は参入されません。

・最低賃金額以上の賃金を支払わない場合は、最低賃金法違反として処罰されることがあります。

・特定の産業(「処理牛乳・乳飲料、乳製品、糖類製造業」、「鉄鋼業」、「電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業」、「船舶製造・修理業、船体ブロック製造業」)で働く者には北海道の産業別最低賃金が適用されます。

**お問い合わせ先**

厚生労働省北海道労働局 労働基準部 賃金課

☎011-709-2311

(内線3564)

## 犯罪被害者支援について

### 【各種相談窓口】

事件や事故に巻き込まれ被害者になってしまった方、一人で悩んでも解決することはなかなか難しいです。警察では相談電話を設置していますので悩みがある方は勇気を出して左記へダイヤルを

【地域社会における被害者支援活動への積極的参加をお願いします】

警察や民間支援団体は、犯罪被害者や遺族の方の求めに応じて様々な支援を実施していますが、心の傷は想像以上に深く、いまだ十分な支援が行われているとはいえない状況にあります。

より充実した支援のため地域社会が一丸となり、各種被害者支援活動への積極的な参加をお願いします。

### 【犯罪被害給付制度の周知徹底】

犯罪被害給付制度は、不慮の犯罪行為によって亡くなられた被害者の遺族や、犯罪行為によって障害や一定の要件に該当する重傷病を負った被害者に対して国が給付金を支給し、精神的・経済的打撃の緩和を図ろうとする制度です。

詳しい内容については警察本部又は最寄りの警察署にお問い合わせください。

余市警察署 ☎ 22-0110

## 余市警察署からのお知らせ

### 【警察相談電話】

- ・性犯罪被害 110番 0120-756-310
- ・少年相談 110番 0120-677-110
- ・暴力相談電話 011-222-0200
- ・一般相談 #9110

### 【民間被害者相談室】

- ・北海道被害者相談室 011-232-8740
- ・日本司法支援センター (法テラス) (トラブル関係) 0570-078374 (犯罪被害関係) 0570-079714
- ・暴力相談 (北海道暴力追放センター) 011-271-5982
- ・交通事故相談 (北海道交通安全活動推進センター) 011-233-2543

## 地球温暖化の話(その2)

### 【地球温暖化の影響と予測】

今後、地球温暖化はどのように進んでいくのでしょうか？ その研究は世界中の大学や研究機関で行われており、その結果をひとつにまとめたものが数年に1回、IPCC (気候変動に関する政府間パネル) の評価報告書として出されています。現在最も新しいものは、2007年に発行された第4次評価報告書です。

この報告は、今後の人間の生活様式に応じた複数のシナリオに分けて、どのくらい温暖化が進むかということについてまとめられています。

例えば、温室効果ガスの発生を抑制せずにこれまで通り経済の発展と人口増加を続けた場合には、100年後の地球の気温は4℃近く上がることが予想されています。

また、環境との調和を最大限考えた場合は、気温上昇は2℃程度に抑えられることが予測されています。

ます。

地球が温暖化すれば、ただ気温が上昇するだけでなく、大気中の水蒸気の量も増加しますので、大雨や大雪による災害の増加も懸念されています。

また、農業分野では、米・ジャガイモ・てんさい等の収穫にも影響が出るという研究結果も発表されています。

このような事態を少しでも食い止めるために私たちは引き続き地球温暖化抑制への努力をしなければなりません。

### ○お問合わせ先

札幌管区気象台天気相談所  
☎ 011-611-0170



## 札幌管区気象台からのお知らせ

## 西館昌巳さんが人権擁護委員に再任

浜町の西館昌巳さんが、職場での差別、いじめなど人間としての権利である人権が侵された際に被害者の相談等に応じる人権擁護委員に再任されました。10月12日、法務大臣に代わって本間町長から委嘱状が手渡されました。任期は平成24年10月1日から平成27年9月30日の3年間です。

西館さんは古平町の人権擁護委員として「どんなことでも困っていることがあったら、気軽に相談してほしい」と話してくれました。



役場町長室にて委嘱状が手渡されました

◆連絡先  
古平町大字港町47番地  
☎42-2585

## 新任警察官 紹介

佐々木裕行 北海道巡査



本年十月一日から古平駐在所で勤務している佐々木と申します。(これまで余市駅前交番で勤務) 駐在所勤務は初めてであり、不慣れな点もありますが、町民の皆さんのご協力の下、頑張りたいと思っております。よろしくお願いいたします。何か気付いた点などがあれば、遠慮なさらずにお越し下さい。

また、私は妻と二人の娘と共に赴任してきておりますので、家族共々暖かくお付き合いいただけますと幸いです。

## 他人とのルールを学べる活動を

### 子育て支援センター 3歳児の「きりんサークル」

子育て支援センターでは、核家族の影響などから子育てに関する悩みを相談できずにいる親が潜在的に増加していると想定しています。そこで毎年、3歳児の親を対象にして地域において子育てで孤立しないこと、4歳児になつた

ら幼児センターへスムーズに入園できるように子育てサークルを立ち上げるよう呼びかけています。

今年度は幼児センターに既に長時間保育で入園している児童の保護者を除く12名の母親で「きりんサークル」の運営を活発に行っています。

サークル活動は自主的な母親の活動の場であることから、月2回の活動内容は母親同士の話し合いで決めています。今年は今ままで担当保育士の指導のもと、母親が子どもたちに本を読んで聞かせることや親子のコミュニケーションを深める目的で浜遊びなどを行いました。

サークルの代表である御崎町の中村真琴さんに、これからはどの

ような活動をしていくのかを尋ねたところ「子どもが集団生活の中で他人とのルールを学べるような活動をしていきたい」と答えてくれました。

今後は幼児センターに通園している同年齢の子どもとの交流や簡単なイス取りゲームなどの集団遊び、親子クッキング等を通じて他人との関わりを深めていくそうです。



母親による本の読み聞かせ

# いきいき・ほのぼの文芸

## 古平町岬短歌会



七竈はやも色づきせぬれる長びく暑さ立ちさりゆけと 泉 清三  
 喜寿迎へふと立ち止り想ひをり受けたる恩は数へきれなし 金子 寿子  
 庭隅で耐へ呉れた花百日草初秋となるも尚咲き誇り 坂本 信子  
 御神輿をお迎へせむととく起きて道路掃除す今日秋まつり 鈴木 時子  
 日中は蝉の声聞へ暑さでもとこころを葉は色変へて 田中 香苗  
 雷光り降る雨はげしき熱帯夜やうやく明けて処暑の爽やか 寺田 カツ子  
 芥子菜を久しく摘みて揉むほどに辛味の増して喉に焼き付く 仲谷 喜美能

## 古平俳句会

野分去り茫茫の浜残りけり 赤とんぼ追ひし故郷茜雲 渡辺 嘉之  
 岩礁に寄する波音秋の声 在りし日の句帳なつかし珊瑚草 山口 悦子  
 露草や心あたりて押し花に 古き家の庭を彩る藤袴 高橋 重子  
 トライプは芒の道に従ひつ 颯風の進路確かめドラマ観る 山口 哲

うたた寝の夢路を過ぎる盆の月 盆の月深き絆の港町 室谷 弘子  
 父の齢とおに超えたる夕月夜 病む姉に蔽く接し初月夜 仲谷 比呂子



## 町長室から

### 雑感

「十月小春」と言われるように、比較的好天が続いて温かく感ずる10月だが、いつになく寒さが身にしみる。やはり、記録づくめの暑さが続いたことに外ならない…多分10月の気温的には平年並に推移していると思われるのだが、暑さ慣れた我々の身体は容易に順応しないのであろう。

山々の木々の葉も鮮やかな紅葉の姿を見せられないまま雪を迎えるのであろうか？そして海もまた、猛暑の名残で水温が高く、来るべきものも順調でないようだが、反面、コメ作りには恵みの暑さだったのかもしれない。

夏の太平洋高気圧が日本列島の真上にまで張り出し、その上に二つの高気圧が重なって三層構造となり、猛烈な暑さの要因ともなったのであるが、結果として北国への台風接近を阻んだ要因ともなっているものの、このことがこの先どのような影響を及ぼすのか非常に気がかりである。何につけても「極端」は要注意だ！

古平町長 本間 順司

ご寄付いただき誠にありがとうございました(敬称略)

◎現金

100,000円

小山田 昭一(札幌市)

100,000円

原田 隆(横浜市)

ご冥福をお祈りいたします

氏名 年齢 死去月日 町内

福澤アヤ子さん 83歳 9・20 本町

大 辻さん 72歳 10・13 沢江町



### 町の人口と世帯数

前月比

人口	3,587人	(-7)
男	1,687人	(-1)
女	1,900人	(-6)
世帯数	1,903世帯	(-5)
外国人	27人	(11)
男	2人	(0)
女	25人	(11)

(平成24年9月末日現在住民基本台帳人口)

